

薬剤部 DI ニュース

降圧剤の配合錠（ARB+カルシウム拮抗剤を中心に）について

最近、2種類の薬剤を配合した錠剤が多く発売された。これはそれぞれのお薬を組み合わせるよりもお薬の値段（薬価）が安く、コンプライアンスの向上も期待できるからです。

今回は降圧剤を含むものに限って組み合わせを述べると

- | |
|---|
| ① アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬 （以下ARBと略します）とチアジド利尿剤を配合された錠剤：プレミネント錠が院内に採用されています |
| ② ARB と カルシウム拮抗剤 を配合した錠剤（先月の薬事委員会にて レザルタス配合錠 HD が採用） |
| ③ カルシウム拮抗剤 とスタチン系薬剤（高脂血症治療剤）の配合された錠剤（院内にはありません） |

そこで、今回はARBとカルシウム拮抗剤を配合した錠剤について整理しました。

ARBとカルシウム拮抗剤を配合した錠剤は、4品目（6種類）発売されています。

	ARB	カルシウム拮抗剤	配合錠の商品名
1	ディオバン錠 80mg	アムロジピン錠 5mg	エックスフォージ配合錠
2	プロプレス錠 8mg	アムロジピン錠 5mg	ユニシア配合錠 HD
3	プロプレス錠 8mg	アムロジピン錠 2.5mg	ユニシア配合錠 LD
4	ミカルディス錠 40mg	アムロジピン錠 5mg	ミカムロ配合錠 AP
5	オルメテック錠 20mg	カルブブロック錠 16mg	レザルタス配合錠 HD
6	オルメテック錠 10mg	カルブブロック錠 8mg	レザルタス配合錠 LD

※これらの商品は半錠にすることはできません

ARBの降圧効果について、当院で採用しているARBのおおよその対応量は

オルメテック 20mg ≥ ミカルディス 40mg = プロプレス 8mg ≥ ディオバン 80mg > ニューロタン 50mg

（上記は、私なりの見解ですので、参考程度にしてください）

又、カルシウム拮抗剤で、持続的な降圧効果が最も期待できる薬剤は、アムロジピン錠であると言われています。

では、アムロジピン錠とカルブブロック錠のおおよその対応量は

カルブブロック錠 16mg = アムロジピン錠 5mg

このことから考えると、今回採用になった**レザルタス配合錠 HD**は、これらの配合錠の中で最も降圧効果が期待できると思います。よって降圧剤を数種類服用しても期待通りの降圧効果が得られない患者には是非、ご使用を宜しくお願い致します。（薬剤部 吉村）